

総合専門学校への取り組み

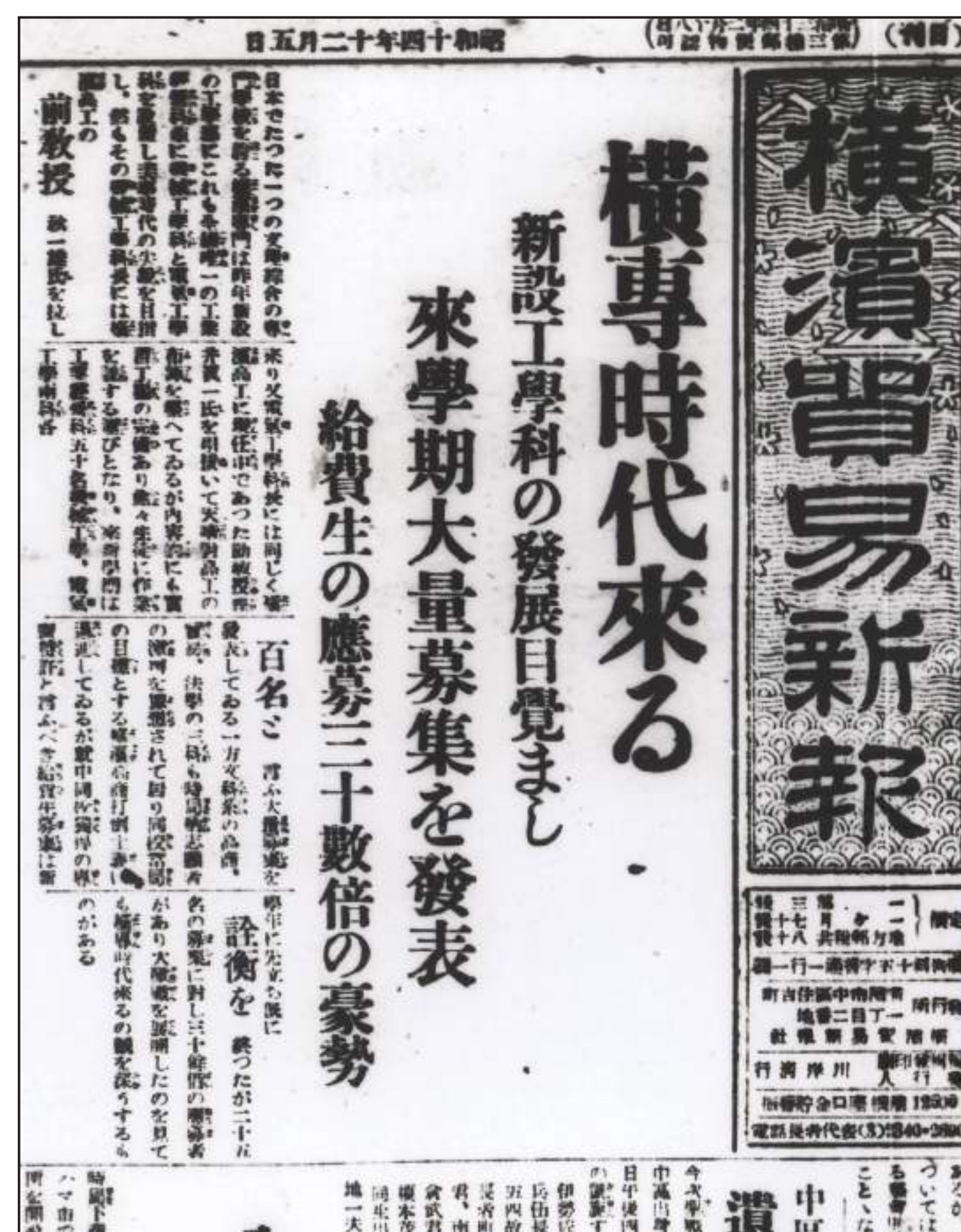
～六角橋への移転～



横浜専門学校全景（1937年）

さらなる学校の発展のために、米田は広い校地を探しました。ちょうどそのころ、横浜市電（路面電車）が開通して間もない横浜市神奈川区六角橋で横浜専門学校の誘致活動が行われ、これを受けて 1930（昭和 5）年に移転することになりました。現在の横浜キャンパスの誕生で、移転が完了した 5月 15 日を創立記念日と制定しました。法学科・高等商業科・貿易科が設けられ、学生たちは勉学や学生生活に一層励みました。

1939（昭和 14）年になると、工学三科（機械工学科・電気工学科・工業経営科）が米田やその協力者の尽力で開設されました。地方紙のなかで最有力の一つであった『横浜貿易新報』は、そうした横浜専門学校の充実ぶりを、給費生制度の反響とともに「日本でたった一つの文理総合の専門学校を誇る」と報じています。



横浜専門学校の充実を伝える新聞記事
『横浜貿易新報』1939年 12月 5日付